

# 災害への備え

# 水害に備えるわが家のアイデア

優秀賞

## こども用非常袋

[山辺町／明賀 由紀子]

私には小さな子どもがいます。  
 災害などで非常な事態になったとき、小さな乳児や幼児は大人と同じものは食べられませんし、おむつなどの生活用品が避難場所で揃うかどうか心配です。そこで娘用用品をまとめたバックを用意しています。入れるものは



これを車のトランクにいつも入れています。災害で使用したことはまだ一度もありませんが、外出時によく使用します。  
 急に着替えが必要になったり、食事の時など大変便利です。使ったら帰宅後すぐに補充するようにしていますし、食品の賞味期限切れを防いだり、季節にあった着替えを常に入れておけるので、しまえばなしよりいいのかなと思います。この「こども日用品セット」は言い替えば「こども用非常袋」です。  
 大切な子どものための、我が家の防災グッズです。

優秀賞

## 濡れても大丈夫な電話番号カード

[尾花沢市／伊藤 富美子]

昨年、丹生川が氾濫するほどの大雨がありました。幸い住宅は何も被害はありませんでした。地区の人足で、道路の被害を確認し水害の恐ろしさを感じました。その時にいざという時のために、常に持っている携帯電話に、娘や親戚の電話を再確認して登録しました。けれども娘に、携帯電話は水に弱く、濡れると使えなくなると聞きました。この年になると番号の暗記も難しく困ったなと思っています、娘がパソコンでみんなの電話番号を小さくまとめて、水に濡れても大丈夫なツルツルのカードにしてくれました。いつも持ち歩く財布に入れてあります。  
 災害のときはもちろんですが、身につけていると、私が事故にあった時などにも役立つのではないかと思います。  
 大変いいものを作ってもらったと思います。



優秀賞

困ったときのポリ袋

〔山形市／佐藤 友美〕

水害対策ではありませんが、市販の防災グッズに加えて、ポリ袋とバケツを用意しています。バケツにポリ袋をいれると、簡易トイレになるからです。

トイレットペーパーや新聞紙も多めにストックしています。

それにポリ袋は浮き袋になるかと思って、厚手のものを用意しています。

住んでいる地域は鉄砲水や突然の増水で浸水するとかはあまり考えられないのですが、町内会では年に一回防災訓練が行われます。避難や指導の仕方も訓練します。困ったときは一人ではなにもできないので、日ごろからご近所のみなさんとは助け合って生活するようにしています。



優秀賞

誕生日は常備食で祝おう

〔天童市／齋藤 光子〕

水害に限った対策ではないのですが、もしものときに備えてレトルト食品や缶詰などの食料品は常備するようにしています。

ただ、本当に必要なときに「賞味期限が切れて食べられない」となると困るので、毎年私の誕生日にそれらの常備食を食べて、新しいものに取り替えるようにしています。

一年に一度、誕生日の日に安全と健康を祝ってます。

